

【注】「電子（を）吸引（性・力）」→「電子（を）求引（性・力）」は、どちらの表記も存在しますが後者がより適切と判断して修正しました。数が多いので正誤表には入れていません。

ページ	問題番号など	訂正行	訂正前（誤）	訂正後（正）	訂正日
本冊	14	20問題文	2行目	(2) , (3)	2026/2/12
本冊	14	21 (2)	---	ただし、O原子は3個のTi原子に正三角形の頂点方向から取り囲まれているものとする。	2026/4/17
本冊	16	25 (2)	---	アボガドロ定数を 6.0×10^{23} /mol,	2025/11/6
本冊	16	26 (4)	---	アボガドロ定数を 6.0×10^{23} /mol,	2025/11/6
本冊	23	40	---	($\sqrt{2} = 1.41$, $\sqrt{3} = 1.73$)	2026/6/1
本冊	30	51 (1)	---	気体の状態方程式 $PV = nRT$ から、気体の密度 d [g/L] を求める式を導け。ただし、 P , V , w , M はそれぞれ気体の圧力、体積、質量、分子量を表し、 T は絶対温度、 R は気体定数とする。	2024/4/5
本冊	31	54	7行目	大気圧は 1.0×10^5 Pa	2026/4/21
本冊	32	56	1行目	以下の各問いに有効数字2桁で答えよ。	2026/2/3
本冊	36	63 (3)	---	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3$ Pa・L/(K・mol)))	2024/4/5
本冊	40	73	6行目	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3$ Pa・L/(K・mol))	2024/6/14
本冊	42	76 (4)	---	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3$ Pa・L/(K・mol)))	2024/8/5
本冊	47	85	13行目	求めよ。	2024/8/5
本冊	47	86	8行目	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3$ Pa・L/(K・mol)))	2024/8/5
本冊	51	92問題文	---	(式量：NaOH = 40)	2025/8/21
本冊	58	108 (1)	1～2行目	反応物の濃度 C の変化する速さ	2024/5/28
本冊	59	109	グラフ	(横軸の単位) 10^{-3}	2025/6/17
本冊	59	110	10行目	R : 気体定数 (8.3J/(K・mol))	2024/7/29
本冊	59	110	上の表 1列目	[L/(mol・s)]	2026/2/2
本冊	60	111	1～4行目	下表は、右図のような装置を用いた鉄(III)イオンを触媒とする過酸化水素の分解反応で発生する酸素の体積から、過酸化水素水のモル濃度 $[H_2O_2]$ の時間による変化を求めたものである。	2024/8/19
本冊	64	118	7行目	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3$ Pa・L/(K・mol)))	2024/8/5
本冊	64	119 (3)	3行目	①式の反応は	2025/8/21
本冊	66	123問題文	1行目, 3行目	少量の、 $\sqrt{3} = 1.73$ とする。	2025/4/14
本冊	66	123 (1)	2行目	40mLを要した。	2025/4/14
本冊	66	123 (3)	3行目	平衡定数は3.0	2025/4/14
本冊	67	125	2行目	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3$ Pa・L/(K・mol)))	2024/8/5
本冊	67	126 (2)	5行目	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3$ Pa・L/(K・mol)))	2024/8/5
本冊	71	---	ページ欄外	問題130, 131で、必要があれば、水のイオン積 $[H^+][OH^-] = 1.0 \times 10^{-14}$ (mol/L) 2 を用いよ。	2024/5/2
本冊	72	132	11行目	下の(4)	2024/5/20
本冊	72	132 (2)	---	モル濃度	2024/5/20
本冊	74	---	ページ欄外	問題136～139で、必要があれば、水のイオン積 $[H^+][OH^-] = 1.0 \times 10^{-14}$ (mol/L) 2 を用いよ。	2024/5/2
本冊	79	147 (3)	---	(水のイオン積 $K_w = 1.0 \times 10^{-14}$ (mol/L) 2)	2026/2/23
本冊	83	156	4行目	アンモニアの電離定数を $\sim$ (mol/L) , 水のイオン積を 1.0×10^{-14} (mol/L) 2 とする。	2026/2/23
本冊	84	157	2行目	25℃, 1.01×10^5 Paにおいて水1L	2025/8/29
本冊	85	159 (3)	2行目	(mol/L) 2	2024/8/2
本冊	86	161	1行目	[A] $\sim$ [C] の各実験を	2024/6/19

	ページ	問題番号など	訂正行	訂正前（誤）	訂正後（正）	訂正日
	本冊	97	180	---	〈問題文末に追加〉	
	本冊	97	180（3）（4）	---	〈文末の原子量，ファラデー定数〉	
	本冊	101	187（6）	3行目	〈文末に追加〉	
	本冊	110	200問題文	1行目	' 〈文末に追加〉	
	本冊	131	232	図	Zn	
	本冊	132	235	選択肢2行目	硫酸鉄（II）	
	本冊	139	243	問題タイトル	ランベント・ベールの法則	
	本冊	140	244（3）	1～2行目	それぞれ何種類の立体異性体が	
	本冊	151	268	3行目	炭素原子には	
	本冊	152	269（5）	2行目	立体異性体が	
	本冊	167	292	8行目	ともにメチル基をもたない	
	本冊	195	339	2行目	図1の	
	本冊	195	339	構造式	図1	
	本冊	195	339（3）	---	図1，図2の	
	本冊	198	342（3）	---	〈問題文を変更〉	
	本冊	205	355	表 システインの側鎖	H-S-(CH₂)₂-	
	本冊	205	355①	2行目	メチオニン	
	本冊	209	361	問題タイトル	トレオニン・酒石酸の立体異性体	
	本冊	216	372（3）	2行目	〈文末に追加〉	
	本冊	370	370	10～11行目	凝固させる	
	本冊	217	373	9行目	〈文末に追加〉	
	別冊解答	2	1 解説 (4)④	全文	同族元素のイオン半径は，原子半径と同様に説明できるが，同周期元素では，ふつう1，2，13族元素はその周期の1つ前の周期の貴ガスの電子配置をもつ陽イオンになるので，この順にイオン半径は小さくなる。16，17族元素はその周期の貴ガスの電子配置をもつ陰イオンになるので，この順にイオン半径は大きくなる。つまり，原子番号とイオン半径は一定の傾向を示さない。	
	別冊解答	4	4 解説（3）	12行目	〈Fの周囲の「・」の数〉	
	別冊解答	7	6 参考 分子の構造式の～（2）	1行目	(i) -N-	
	別冊解答	17	21 解説（2）	---	〈全文差し替え（補足は削除）〉	
	別冊解答	26	36 解答（3）	---	0.67L	
	別冊解答	26	36 解説（3）	5行目	≒0.0602	
	別冊解答	26	36 解説（3）	10行目	0.0602、0.674、0.67	
	別冊解答	28	40 解説（3）	7行目	[mol]	
	別冊解答	28	40 解説（3）	8行目	1000:28	
	別冊解答	28	40 参考	23行目	〈数式中の数字2か所〉4	
	別冊解答	43	65 解答（3）	---	5.6g	
	別冊解答	43	65 解説（2）	4・9行目	52.4	
	別冊解答	43	65 解説（2）	10行目	42.88	
	別冊解答	43	65 解説（3）	5行目	52.4	
	別冊解答	43	65 解説（3）	6行目	5.6	
	別冊解答	60	89 解答（4）	反応式左辺	5O₂	
	別冊解答	73	107 解答（4）	---	O₂の生成速度0.080mol/L・分	
	別冊解答	73	107 解説（2）	2行目	<i>k</i>=0.294 [/分]	
	別冊解答	73	107 解説（3）	1行目	=0.294×0.540=0.159	
	別冊解答	73	107 解説（4）	5行目	0.5である。	
	別冊解答	73	107 解説（4）	6行目	NO₂の生成速度 0.159×2=0.318 [mol/L・分]	

ページ	問題番号など	訂正行	訂正前（誤）	訂正後（正）	訂正日
別冊解答	73	107 解説（4）	7行目	$0.159 \times 0.5 = 0.080 \text{ (mol/L} \cdot \text{分)}$	2024/5/30
別冊解答	74	108 解答（1）	---	$- \frac{dC}{dt} = -kC^2$	2024/5/30
別冊解答	74	108 解説（1）	2～3行目	ヨウ化水素の分解速度－	2024/5/30
別冊解答	74	109 解説	3行目	A点とB点の値（グラフの横軸は10倍した値なので、10 ^{－3} したものと値を用いる）で	2025/6/17
別冊解答	83	123 解答・解説	---	〈図版リスト：2に差し替え〉	2025/4/14
別冊解答	90	132 解説（2）	7行目	モル濃度	2024/5/20
別冊解答	97	142 解説（1）	6行目の反応式右辺	NaCl	2024/8/21
別冊解答	99	146 解説（1）	16行目	NH_4^+	2025/10/16
別冊解答	101	148 解説（1）	7行目	〈 $[H^+]$ から始まる式の末尾に追加〉	2024/8/19
別冊解答	106	157 解説ア	7行目	=1.20	2024/10/30
別冊解答	107	157 解説(ii)	8行目	1.21×10^{-5}	2026/2/25
別冊解答	107	157 解説(ii)	9行目	$=2.01 \times 10^{-6} \approx 2.0 \times 10^{-6}$	2023/8/17
別冊解答	108	159 補足	2行目	$[OH^-]$	2025/8/7
別冊解答	110	161 解説（1）～（3）[D]	7行目の反応式右辺	$2Mn^{2+}$	2024/7/29
別冊解答	112	163 解説	12行目	NaC_2O_4	2024/6/19
別冊解答	112	163 解説（2）	5行目	$KMnO_4$	2024/5/20
別冊解答	112	163 解説（2）	7行目	$C_2O_4^{2-}$	2024/5/20
別冊解答	113	164 解説（1）	4行目の反応式右辺	$O_2 + 2H_2O$	2024/4/7
別冊解答	113	164 解説（2）	1行目	$Na_2S_2O_3 \cdot 5H_2O$	2024/10/30
別冊解答	115	168 解説（2）	10行目の反応式	$2O_2 + 2e^- \rightarrow S_4O_6^{2-} + 2e^-$	2024/8/20
別冊解答	134	194 解説（2）	5行目の反応式右辺	$2AlCl_3 + 3H_2$	2025/10/28
別冊解答	140	200 解答（3）(b)	---	黒褐色	2024/4/5
別冊解答	155	218 解説	右段上の図	侵入型合金（銅）	2026/4/16
別冊解答	162	228 解答（3）	---	3.0×10^{-2}	2026/1/6
別冊解答	170	235 解答、解説	解答H，最終行	$FeCl_2$	2025/4/14
別冊解答	171	238 解答⑥	---	$KFe[Fe(CN)_6]$	2024/10/28
別冊解答	171	238 解説（c）	2～3行目	〈反応式を変更する〉 $4Fe + 3K_4[Fe(CN)_6] \rightarrow Fe_3[Fe(CN)_6] + 12K^+$	2024/10/28
別冊解答	175	243 解答（3）	---	$C = 3.0 \times 10^{-8} \text{ (mol/L)}$	2024/7/23
別冊解答	176	243 解説（3）	8行目	$C = 3.0 \times 10^{-8} \text{ (mol/L)}$	2024/7/23
別冊解答	183	249 参考 環状化合物の～	一番目の反応式	CH_2	2024/9/18
別冊解答	195	261 解説（2）(ii)	---	つまり、この油脂1molに付加しうるIは6molである。また、定義より、油脂100gに付加しうるI（分子量254）のグラム数がヨウ素価であるから、 $(100/878) \times 6 \times 254 \approx 174$	2024/7/31
別冊解答	211	276 解答（3）	1番目の反応式	（イ）	2024/7/31
別冊解答	211	276 解説	10行目	アセトンが生成する	2024/4/5
別冊解答	211	276 解説	右段24行目	=135 ∴ $n=1$	2024/7/10
別冊解答	216	282 解説（2）	3番目の反応式	〈（副）の化合物の構造式〉 〈*を削除する〉	2024/7/26
別冊解答	220	286 解説（1）	8行目	〈右側の構造式〉-CH ₂ -CH ₃	2025/8/7
別冊解答	225	292 解説（1）	右段18・20行目〈(i)-(iii)の構造式直前の段落	メチル基	2025/11/20
別冊解答	230	299 解答（2）	---	グリブタル樹脂（アルキド樹脂）	2024/4/12
別冊解答	231	299 解説（2）	反応式の説明文	グリブタル樹脂	2024/4/12
別冊解答	231	300 補足	（b）の反応式	〈1番目の化合物と同じ位置にCを追加する〉	2024/7/17
別冊解答	241	310 解説	（v）の反応式	-H ₂ O	2025/8/7
別冊解答	249	318 解説（1）	3番目の反応式	$(CH_3CO)_2$	2025/8/7

	ページ	問題番号など	訂正行	訂正前（誤）	訂正後（正）	訂正日
別冊解答	250	318 参考〈後者〉	後ろから8行目	一旦	一旦	2024/12/24
別冊解答	251	320 解説	左段（iii）の構造式	-CH(CH₃)₃	-CH(CH₃)₂	2025/8/7
別冊解答	259	327 参考	5,7行目	ヒドロキシケトン基	α-ヒドロキシケトン基〈2か所〉	2024/8/19
別冊解答	276	341 解説 硫黄反応	6行目	メチオニンでも呈色するが,	メチオニンの	2024/8/19
別冊解答	289	356 解答（1）	---	-Gys-	-Cys-	2024/7/31
別冊解答	305	372 解答（3）	---	98.5 L	99.6 L	2025/6/30
別冊解答	306	372 解説（3）	5行目	〈差し替え〉	〈図版リスト：3に差し替え〉	2025/6/30
別冊解答	307	372 解説（6）	反応式	CH₂〈3か所〉	CH₃	2025/7/10
別冊解答	307	373 解説（1）	3行目	80.0	8.0	2025/10/16
別冊解答	309	376 解答（5）	---	1.85g	1.9g	2025/8/26
別冊解答	310	376 解説（5）	最終行	1.85g	1.9g	2025/8/26
別冊解答	318	383 参考 光透過性高分子	2行目	結晶しにくい	結晶化しにくい	2024/7/31

◁</>で囲まれた部分は以下のような文字です

下線 <u>□</u>

イタリック <i>□</i>

太字 □

上付き [□]

下付き _□

